

どうしんまなbell、GoGoまなbellへのご意見、ご要望をお寄せください。

E-mail doshin-kyoiku@hokkaido-np.co.jp

第3回 まなbellでつくろう！ 新聞コンクール

どうしんまなbellで、自由な視点、切り口でオリジナルの新聞を作り、応募してみませんか。新聞作りの体験を通して「考えを文章にまとめる力」「言葉を選び要約する力」を育みましょう。

応募要項

新聞のテーマ

学校行事のまとめや地域の紹介、興味を持っていることなど
自由なテーマで作ってください。

- 例1 学校行事のまとめ（修学旅行、宿泊研修、運動会、学習発表会など）
- 例2 地域の紹介（住んでいる町や通っている学校の紹介など）
- 例3 夏休みに取り組んだこと、趣味、興味を持っていること



対象

北海道内の
小学4年生～6年生

募集期間

2026年6月1日(月)～
10月5日(月)
※データ受理日。郵送消印有効

応募条件

応募は1人につき1作品です

「まなbell」の新聞テンプレート4種のうち、いずれかを使って制作した作品が対象です
※手書き、ペンなどで色を付ける、実際の写真を貼り付けるなどの加工は不可
※同学年の場合、複数人での共同制作・応募は可（共同制作の上限は3人）
※エントリーはクラス、学年、学校単位（クラス全員の参加を必須としない）

応募方法 下記①、②の手順で学校を通じて応募してください。

① 専用フォームからエントリー

北海道新聞NIEサイト*内告知(5月公開予定)
またはQRコードから専用のエントリーフォーム
にアクセスし、必要事項を入力してください。



*北海道新聞NIEサイト

https://nie.hokkaido-np.co.jp/digital_kyouzai/

② 作品(新聞)を送付

「作品(新聞)のPDFデータ」と「応募者リスト(新聞制作者の名前、学年等)」を「新聞コンクール係」宛てに送付してください。

※データとリストの送付方法はエントリー時に選択。エントリー後、係から連絡いたします。

※作品(新聞)のファイル名は、「学校名」「学年」「氏名」がわかるようにしてください。

例)みらい小学校4年_北海道太郎

※PDFデータの送付が難しい場合は郵送でも受け付けます。A4サイズでカラー印刷し、下記「新聞コンクール係」宛てに郵送してください(応募者リストはメール送付)。

※最終審査まで作品(新聞)の「一時保存データ」「PDFデータ」を保存してください。

作品送付・申し込み先

北海道新聞社 みらい教育推進室 新聞コンクール係

✉ doshin-kyoiku@hokkaido-np.co.jp

〒060-8711 札幌市中央区大通東4丁目1

賞と副賞

- ★最優秀賞 3作品(各学年1) 図書カード(1万円)
- ★優秀賞 18作品(各学年6) 図書カード(5千円)
- ★入選 80作品程度(全ての学年対象) 図書カード(1千円)
- ★学校賞 5校程度(*) 学校教材ギフト券(1万円分)

※参加児童数や入賞者数を勘案して選定
最優秀賞、優秀賞の受賞者には賞状、学校賞の受賞校には盾を贈ります。

発表

2026年12月上旬

※発表は最優秀賞、優秀賞、学校賞のみ。入選は副賞の発送をもってお知らせ
※発表媒体は、北海道新聞、まなぶんデジタル、「GoGoまなbell」を予定

賞品発送

2026年12月中旬

注意事項

- ・作品(新聞)の「発行元」欄に必ず「学校名」「学年」「氏名」を記載してください。
- ・作品はオリジナルで未発表のものに限り、チャットGPTなどの生成AIの使用は不可とします。
- ・使用する写真はオリジナルのものに限りです。
- ・ネットや書籍などからの無断転載(コピー)は不可とします。
- ・資料の転載や文章を引用した場合は、出典を明記してください。
- ・入賞、入選作品の著作権は主催者に帰属します。優秀作品は北海道新聞社の媒体で紹介するほか、後援自治体や学校のホームページなどで紹介・使用されることがあります。
- ・応募作品について著作権・肖像権侵害などで係争が生じた場合、主催者は責任を負いません。
- ・作品公表の際には、明らかな誤字・脱字等は修正させていただくことがあります。
- ・記載いただいた個人情報は主催者が適正に管理し、受賞者への連絡、作品に関する問い合わせ、取材、受賞者発表など本コンクールに関連することのみに使用します。
- ・応募作品は返却しません。

主催：北海道新聞社 後援：デジタル教材「まなbell」導入自治体

お問い合わせ：北海道新聞社 みらい教育推進室

TEL 011-210-5802 (平日9:30~17:30)

第2回 まなbell でつくろう! 新聞コンクール (2025年度)



最優秀賞

北海道教育大学附属札幌小学校
4年 馬場 勲さん

この夏、僕は

夏休みに体験した楽しかったことや疑問に思ったことをまとめました。みんなが読みたいと思う新聞を目指し、言葉選びや色を工夫し、目を引くような新聞名や見出しにしました。

限られた文字数で書きたいことを伝えるようにまとめるのが難しかったです。今回は得意な折り紙をテーマに歴史や紙質のことなど、折り紙の奥深さを伝える新聞を書きたいです。



どんどん
読みたくなる、
とほめられた!

4年生担任 土岐 友哉先生

国語「新聞をつくろう」の学習で取り組みました。テーマは「夏休みの思い出」です。自分の体験が読み手に伝わることを心がけるように指導しました。デジタル制作は修正しやすく、試行錯誤しながら完成度を高めることができましたようです。情報をわかりやすく伝える力が身につく、表現する楽しさを実感していました。「また作りたい」という声も多く、他教科でも活用していきたいです。

最優秀賞

栗山町立栗山小学校
5年 酒巻 咲衣さん

栗山思い出新聞

初めての新聞作りは新鮮でした。印象に残る見出しを考え、文章を読み返して表現をわかりやすく修正しました。文字数を調整するのが難しかったです。急流すべりやジャングルを探検しているような気持ちになったEポートでの川下りの記事は特に読んでほしいです。小学生の時の体験は大切な思い出になるということが、読む人に伝わるといいなと思っています。



次は
修学旅行新聞を
作りたい!

5年1組担任 富樫 忠浩先生

読み手を意識した見出しづくり、5W1Hや情報整理を意識して指導しました。子どもたちは自分の思いや地域の魅力をどう伝えるかを考える中で、表現することに自信をもつようになりました。誰かに読んでもらうことがモチベーションの向上につながり、伝えるために書くという相手意識はとても重要だと改めて実感しました。コンクールへの応募は子どもたちの考えを形にする貴重な取り組みと捉えています。

最優秀賞

田中学園立命館慶祥小学校
6年 森 真楓さん

必見!学校行事

見てほしいのは、読みたいと思える新聞名や見出しと、「学校の大切な言葉」の記事。みんなにも使ってほしい言葉について書きました。字数制限に合わせて新聞を作ることが大変で、伝えたいことを整理するなど要旨をまとめる力は大事だと思いました。頑張ったからこそ、いろいろな人に評価される喜びが大きいことも学びました。コンクールに応募してよかったです。



受賞は
自分の自信に
つながった!

6年2組担任 佐々木 智和先生

新聞を作る活動は、子どもたちが自分の学びを整理し、伝える力を育てるよい機会になっています。授業の一環として始めましたが、「もっと読んでほしい」「伝えたい」という思いが芽生え、自然とコンクール応募につながりました。デジタルだからこそ試行錯誤しやすく、取材や見出しづくりを通して表現力や発信力が伸びたと感じます。また、評価される喜びも次の意欲に結びつきました。まなbellは子どもたちの学びを形にする有意義なツールとなっています。

審査員特別賞

札幌市立新札幌わかば小学校
6年 村岡 新太さん

ガラス魅力新聞

思ったことを自分の言葉で自由にまとめることができ、とても楽しかったです。修学旅行で特に心に残った「ガラス」をテーマにしました。見出しを「圧倒的ガラスの美しさ」とした記事は、特に深く掘り下げたので、ぜひ読んでほしいです。また、「ガラスの歴史」では、新しく調べたことや自分の考えも取り入れたため、まとめるのが大変でした。



今度は自分の
学校にしかない
特色をまとめたい!

6年1組担任 千葉 拓士先生

新聞づくりでは、児童の実態や内容に合わせて記事の数を選ぶようにしています。コンクールへの応募を通して、子どもたちは言葉選びや表現の工夫に目を向けることができました。メイン記事を決め、読者を引きつける工夫を意識させることで、印象に残り、説得力のある言葉を選ぶ力が身についてきたと感じています。また、デジタルならではの修正のしやすさは、友達と一緒に推敲を重ねながら表現を磨く学習に役立っています。